

近況報告・私の思うこと

No. 12

大阪府立北野高等学校定時制課程

北辰25期会



2016年6月吉日

水原 涓江 (教師) 尊い教訓として語り伝えて

何とか出席したいと願っていましたが、介添えが無いと無理なので断念しました。

戦後の苦しい時代を過ごした経験を大切にして、次の世代の人たちに、尊い教訓として語り伝えてください。体に無理をしないで下さい。

河崎 正清 今も定時制生活です

相も変わらず漢字検定試験に手こずっております。受験の度に「寝袋に入った」思いをしています。その心は「手も足も出ない」。

毎朝3時～5時に起床して、漢検の受験勉強をして、午前6時になれば大阪城公園へウォーキング、ラジオ体操に出かけます。これを「城の見回り」と人には言っています。

昼からは図書館で時間を過ごしております。「何の本を読むの？」と問われたら「いろいろ」と答えることにしています。本当にアッチ読み、コッチ読みです。

目移りが激しいので、1冊を読破することはまずありません。治さなければと思うのですが、治りません。この悪癖は。読んでいるうちの、なにか懐かしさを感じることがあります。

その場合は100%、前に読んだことを忘れて読んでいたのでした。

「気付かずに最後まで読むよりはいくらかましか」と自らを慰めています。

だいぶ前に居安先生の御著書を偶然図書館の書棚で見つけたので、早速読み始めましたが・・・。

第1章、第1節の第1文から、全く歯が立ちませんでした。「先生。すんません！」。

皆さんと同期会でお目にかかるのを楽しみにしています。

齋藤 陽子 人の輪に包まれて

以前、働いていた会社の同期の人から「7月に、古稀のお祝いを機に集まろうと思うから、女の人を集めて取りまとめて」と電話が入りました。

5年前にも、入社50周年記念で集まろうと連絡を頂いて、今も仲良くしている人と手分けしましたが、連絡出来て出席の返事を貰えたのは男女合わせ16名。

今回もこれ位かな。

集まる人数は少ないけれど、稀に古い歳になっても集まろうと声を掛けて頂けるのは、幸せだし嬉しいです。

北辰会25期の同期会、途上人 KITANO、その途上人の中で、時間が合った人同士が集まって、泊り掛けで山に行ったり、お花見に行ったり、毎月飲み会を開いたりしている渡部会。北辰会幹事会総会では、ほとんど交流の無かった24期の先輩に、こまめにお世話していただいて、本来なら後輩がお給仕しなくてはいけないのに、空の器を差し出して「ありがとうございます」と言えば、御馳走がたっぷり入って戻ってきて「わあ～」と歓声を上げて喜べるお付き合い。

会社時代の同期や北辰会の人々に、こんなに大切にしてくれるのも、働きながら4年間、振り落とされそうになりながらも、必死にしがみついて頑張ったご褒美だと思います。どうぞ皆さま、まだまだ、いっぱい、いっぱいご褒美くださいませ!

追伸 6月12日に開催された北辰25期会終了後、在学中にワイワイ、ゲラゲラとつまらない事で笑っていて「三笑会」と名付けた友達5人(小田原から富川さん、福岡から香月さん、名古屋から中村さん、大阪組の有本さんと齋藤)で箕面観光ホテルへ13年ぶりのお喋り会に行きました。その名の通り、お店を出てからず〜っと喋りっぱなし、途中まで一緒だった前田さんも、さすがに口を挟む隙もなく、石橋でお別れ。同期会が終わった時は「喋りすぎて喉が痛い」と言っていたのに、0時半に「オヤスミ」と電気を消し、5時に「オハヨウ」を言うまでの間だけ静かでした。延べ20時間以上喋っていた勘定になります。

一年前も、13年前も、勿論55年前も会った時の隔たりは感じませんでした。

横谷 良勝 100歳で投擲、日本一

世話人の皆さん御苦勞様です いつも御世話になっています

12日は南部杯陸上競技大会。悩みましたが前回欠席した事もあり、今回は25期会を優先しました 皆様に会えるのを楽しみにしています

5月7日は大阪マスタース陸上競技選手権でした 古希を過ぎたら現役復帰、競技しようと思っていたので、やり投げ、円盤投げ、砲丸投げに出場しました。

いつも審判をやっているなので内容は熟知しているのですが、トラック競技と違って見るのとやるのとでは大違い、結果は??でも記録は残せたので次回からは少しでも上回る様に、改めて練習の大事さを実感しました。

仕事にしても、陸上競技にしてもこうして現役を続けられる体力、環境に感謝し。1年1年を大事に頑張ろうと思っています。(100歳で投擲日本1を目指すとっていました。周りからは生きておれんぞ!!と茶々が入っていました。)

宇治 靖之 私の闘病記

同期会の案内状、ありがとうございます。

残念ながら欠席させていただきます。よろしくお願ひ致します。

昨年思いもよらず食道がんが見つかり、治療に明け暮れた日々となりました。

がんが見つかったきっかけは、4月中頃、いつもの飲み友達と近くのファミリーレストランに昼食を食べに行ったとき、胃液が口に上がってきて、食事をもどしそうになりました。

逆流性食道炎にでもなったのかなと思い、とにかく一度検査してもらおうと、胃カメラ検査のできる近くの診療所に行き、胃カメラの予約をし、数日後検査を受けたところ、食道と胃の境界付近に大きな腫瘍が見つかり、細胞診の結果、がんと判定され、近くの大学病院への紹介状を書いてもらいました。

大学病院では食道がんのステージ3と判定され、抗がん剤の92時間連続点滴を2回、3週間間隔を空けて行い、平行して放射線照射治療を行い、がんを小さくしてから手術を行うことになりました。抗がん剤点滴では、副作用で気分が悪く、食事がほとんど取れず、栄養剤の点滴で体を持たせているような状態で見るとうちに体重が減ってきました。髪の毛も激しく抜け、白髪だけが残っているような状態となり、もう年齢から考えて、諦めました。幸いなことに現在では元通りに髪の毛が回復してほっとしています。

8月に手術を行い、食道の大部分と胃の一部も切り取りました。幸いなことに、切り取った食道のがんは抗がん剤と放射線により死滅していたとのことで、周辺のリンパ節からがんは見つからなかったとのことで、現段階では転移の可能性は低いとのことでした。

もっとも一般的に食道がんは再発や転移の可能性が高いと言われているようなので、油断は出来ません。5年間は3か月ごとの検査と診察が続きます。

胃の上部も一部切り取り、引っ張って喉近くで繋いでいるため、食べられる量が少なく、なかなか体重も体力も回復しません。

体力回復のために、病気の前から行っていたウォーキングを初めていますが、わずか2～3kmの距離に休憩を入れバードウォッチングをしながら、1時間ほどかけて歩いています。

バードウォッチングといっても全くの素人で、初めはスズメとハトとカラスぐらいしか分かりませんでした。本を買ってきて調べる中で、例えば一見してスズメと思っていた鳥でも、ヒバリやカワラヒワ、セッカ、ムクドリ等々いろいろな鳥がいることがやっと分かるようになりました。近くの堤防や河川敷のウォーキングコースからは、冬には数種類のカモなどの水鳥が川面に泳いでいるのがみられ、都会の中ですが、数えて見ると20種類ほどの野鳥が見られることがあります。

特に楽しみにしているのは、カワセミという、背中がコバルトブルーでお腹がオレンジ色の、スズメより僅かに大きいきれいな鳥が見られることです。渡り鳥ではないので、年中いるようですが、数も少なく警戒心の強い鳥なので、時々しか見られませんが、冬の間の方がよく見られるようです。